過去に紹介した取組内容一覧【R8年度】→市HP及びグループウェア掲示板

紹介時期		取組内容	
年	月	呼びかけ	脱炭素の視点
令和８年	５月	「太陽光パネルや蓄電池を導入しよう」	家庭から排出される二酸化炭素のうち，約2/3が電気の使用に由来していることをご存知でしたか？ 電気使用による二酸化炭素を減らすのに，最も効果的なのは太陽光発電設備の設置ですが，設置には多額の費用が掛かります。 そこで千葉県では，「みんなのおうちに太陽光」キャンペーンを実施しています。設備導入を希望する人を募り，一括して発注することにより，スケールメリットを活かして市場価格より安い費用で導入できる事業です。住宅用だけでなく，事業用も用意されております。 また，同時に蓄電池を設置することで，余った電気を夜間に使用できるなど，更に自家消費率を上げることができます。災害時の電力の確保にも効果的です。 蓄電池の導入にあたっては，八千代市でも補助金をご用意しておりますので，是非検討してみてはいかがでしょうか。 ▸太陽光発電設備等共同購入支援事業／千葉県 https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/groupbuy/index.html ▸八千代市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 https://www.city.yachiyo.lg.jp/site/promo/48330.html ▸八千代市事業用設備等脱炭素化促進事業補助金 https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/40/70816.html
令和８年	６月	「里山や生物多様性について知ろう」	皆さんは，森林や里山などの自然環境が二酸化炭素を吸収し，地球温暖化の防止に役立っていることをご存知でしょうか？ 八千代市では，谷津田や樹林地などからなる里山環境の保全に取り組んでいます。こうした自然環境は，多様な生きものの生息・生育の場であるとともに，二酸化炭素を吸収・貯留する機能を有しており，脱炭素社会の実現にも貢献しています。 脱炭素というと省エネや再生可能エネルギーが注目されますが，自然環境を守り，次世代へ引き継いでいくことも重要な取組の一つです。 休日の散策やウオーキングの際には，ぜひ「ほたるの里」や「谷津里山」の周辺の遊歩道や公道から樹木林や田園風景を眺めてみてはいかがでしょうか？ 季節ごとに変化する自然に目を向けることで，身近な環境や生物多様性への関心を高めることができます。
令和８年	７月	「『うちエコ診断』のススメ」	八千代市では，家庭からの二酸化炭素排出量が，市全体の排出量の約17%を占めており，家庭部門での脱炭素に向けた取組みを加速させることが重要となります。 環境省では，家庭エコ診断制度「うちエコ診断」を実施しており，環境省公的資格を持った「うちエコ診断士」が，ご家庭でのCO2排出量の可視化，おススメの対策方法，どのくらい光熱費を節約できるのか，といったアドバイスを行ってくれます。 また，「うちエコ診断WEBサービス」では，パソコンやスマートフォン等で診断を受けることもできます。最短5分程度で，簡単に診断・アドバイスを受けることが可能です。 積極的に活用していただき，家庭からも脱炭素に取り組みましょう！ ▸家庭エコ診断制度／一般社団法人地球温暖化防止全国ネット https://www.uchieco-shindan.jp/ ▸うちエコ診断WEBサービス／環境省 https://webapp.uchieco-shindan.jp/
令和８年	８月	「スギ１本分のエコを始めよう」	突然ですが，皆さんは「日本の代表的な木であるスギ1本が，1年間に吸収する「二酸化炭素（CO2）の量」はどのくらいかご存知ですか？ 36～40年生きたスギの，1ヘクタール当たりの二酸化炭素吸収量は，なんと約8.8推定されています。 これを私たちの日常生活や業務に当てはめてみると，驚きの事実が見えてきます。 ▸１世帯当たりのCO2排出量：1世帯から1年間に排出されるCO2の量は，2021年でみると，なんと約3.7トン（3,700kg）。これをすべて吸収するには，立派に育った杉の木（36～40年生）が420本も必要になります。これは，皆さんのお家の後ろに，杉林がまるごと一つ必要な計算になります。 私たちが何気なく使っているオフィスの電気や車の利用も，多くのCO2を排出しています。これらをすべて森林の吸収力に頼るには，膨大な数の木を植え続けなければなりません。まずは「排出する量を減らすこと」が何よりも大切です。離席時のPC画面オフや，トイレ等の消灯の徹底，近隣への移動は徒歩や自転車を活用するなど，地球と地域の未来のために，今日からできる「スギ1本分のエコ」を始めてみませんか？

過去に紹介した取組内容一覧【R8年度】→市HP及びグループウェア掲示板

紹介時期		取組内容	
年	月	呼びかけ	脱炭素の視点
令和８年	９月	「お風呂は家族で時間を空けずに入ろう」	今年の夏も暑かったですね。でも、ここ数年の中では、比較的涼しい日が多い夏だったようにも感じます。そうなると、普段の夏は入浴をシャワーのみで済ませる人も、ちゃんとお風呂を沸かして入ることも多かったのではないでしょうか。 お風呂を沸かすには、ガスなどでお湯を沸かすため、当然CO2を排出することになりますが、家族で順番に入浴するとき、時間を空けて入ると追い焚きによりさらに多くのCO2を排出することになってしまいますので、なるべく時間を空けずに連続して入浴すると効果的です。 例えば、２時間の放置により4.5℃冷めてしまったお湯（200L）を１回追い焚きするのを控えた場合、年間で85.7kgのCO2を削減でき、ガス代は約6,190円も節約できます。 お風呂にはゆっくり入りたいと思いますが、順番に入るときの交代は素早く行いましょう！